

朝鮮民主主義人民共和国による核実験に対する抗議声明

10月9日、朝鮮民主主義人民共和国（「北朝鮮」）は、地下核実験を実施したと発表しました。

私たち北海道平和運動フォーラムは、永年にわたり「人類と核は共存できない」との基本認識に基づき、「すべての国の核実験・核兵器」に反対し、平和と核軍縮・廃絶をめざしてきました。いかなる理由があれ、いかなる国であれ、核実験・核兵器保有は許されるものではありません。また、今回の核実験は、国際社会への無謀な挑戦であり、かつ、2002年の日朝ピョンヤン宣言、2005年の六カ国共同声明等を踏みにじる暴挙です。極めて遺憾であり、憤りを覚えます。

しかし、米国は、イランや「北朝鮮」の核開発には強硬に反対する一方、インドに対する核技術供与の約束、イスラエルの核保有の黙認など、NPT（核拡散防止条約）に逆行する行動をとっていることも看過できません。

また、私たちは、この「北朝鮮」の核実験を口実とする、日米のミサイル防衛の促進・強化、集団的自衛権の行使など、米国に追従するわが国の軍事力増強、核武装論の台頭等に対しては、引き続き反対運動を推進します。あわせて、在日朝鮮人・学生等への不当な嫌がらせなどが生じないように冷静な行動も求めます。

いま、対話と協議が強く求められています。さらに暴走しかねない「北朝鮮」を孤立させず、国家間・民間レベルでの緊張緩和に向けた対話を続けることが不可欠です。

武力では何ら問題解決の糸口は見出せません。私たちは、東北アジアにおける非核・平和の確立、日朝国交正常化への道確かなものにすることを目指し、直ちに対話と協議を開始することを関係国政府に強く求めます。

以 上

2006年10月10日

北海道平和運動フォーラム

代 表 杉山さかえ

代 表 江本 秀春

代 表 住友 肇